

## 宗祖御遠忌記念事業

### 高山別院本堂等御修復【第二期工事】

## 耐震補強工事・諸設備整備工事・内陣荘厳御修復

—耐震補強方法を景観に配慮した方法に変更—

第二期工事については、昨年9月より実施設計に向けて本格的な細部の検討が始められました。工事内容を大きく耐震補強工事と付帯工事（本堂諸設備整備工事）に分け、記念事業部会内にそれぞれの作業部会（企画検討会）を設けて作業が進められ、その中で耐震補強工法の変更が議論され、12月には取りまとめられた内容をもって実施設計に着手しました。

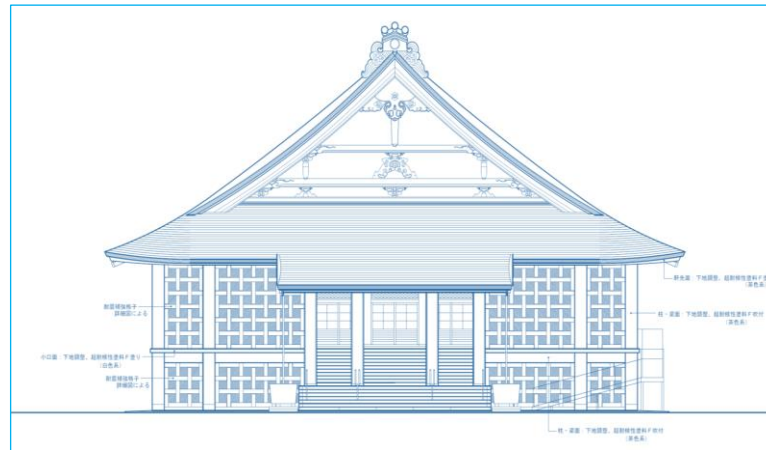
本年2月には実施設計書が提出され、その詳細内容を確認し、特に付帯工事（本堂諸設備整備工事）について内容の追加が議論され、6月には記念事業部会として実施設計書の確定に至りました。

工事については、当初来年からを予定いたしておりましたが、報恩講までの完成を目指すことが確認され、今年末の着工を目指し、記念事業部会において業者選定作業を行うこととなりました。

### 【耐震補強工事・付帯工事（本堂諸設備整備工事）】

#### ＜耐震補強工事—耐震補強方法の変更・庇補強工事の取りやめを決定—＞

耐震補強工事については、計画段階から鉄骨ブレイス方式による工事案が提示されてまいりましたが、当初より指摘されてきた景観の問題から、斜め構造の鉄鋼補強材をルーバー（化粧材）で隠すことが考えられておりましたが、完全に隠すことができないということもあり、昨年10月、白鳥設計士より、H鋼材を格子状に組み上げ耐震補強材として用いる新たな工法が提案されました。また、庇についてもH鋼材による補強工事が当初提案されていましたが、瓦



H鋼材による耐震補強イメージ（本堂正面）

屋根で無く銅板葺での工事となり軽量化されたこともあり、庇自体の落下の危険性は小さいと判断しされることも確認され、記念事業部会及び統括本部会議において新工法の採用及び庇補強工事の中止について承認され、実施設計に取り掛かることとなりました。

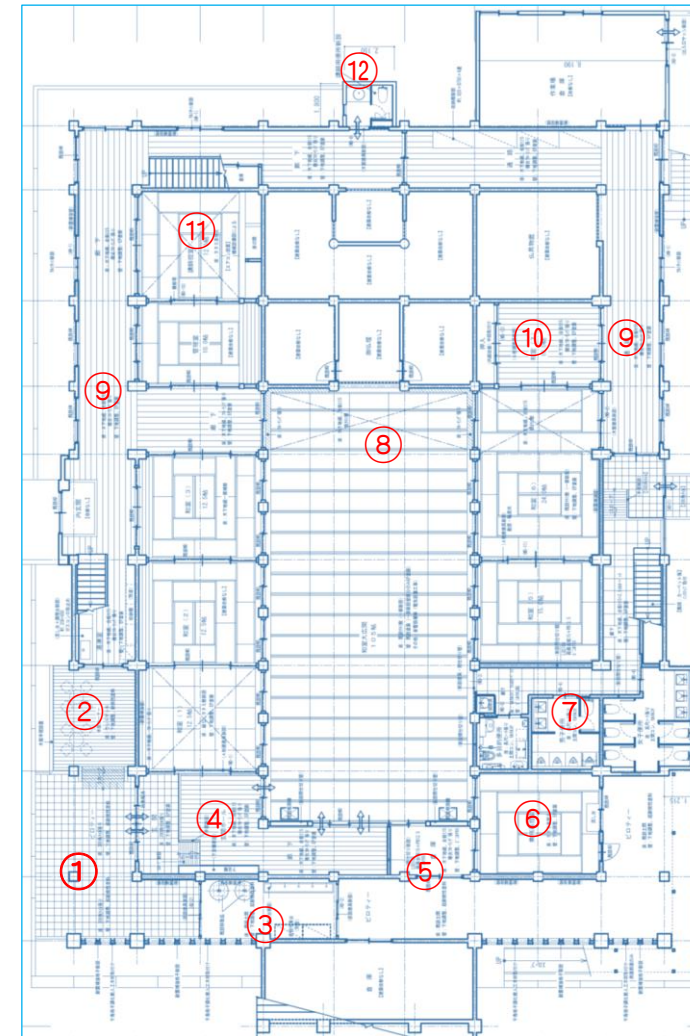
#### ＜耐震補強関係の主な変更点＞

- ① 本堂正面 4カ所のブレイス補強 → 8カ所のH鋼格子補強
- ② 本堂東西面 鉄骨ブレイス → H鋼格子補強
- ③ 本堂内部 2階各2カ所（全4カ所）の鉄骨ブレイス → RC耐震補強壁
- ④ 庇補強工事の中止

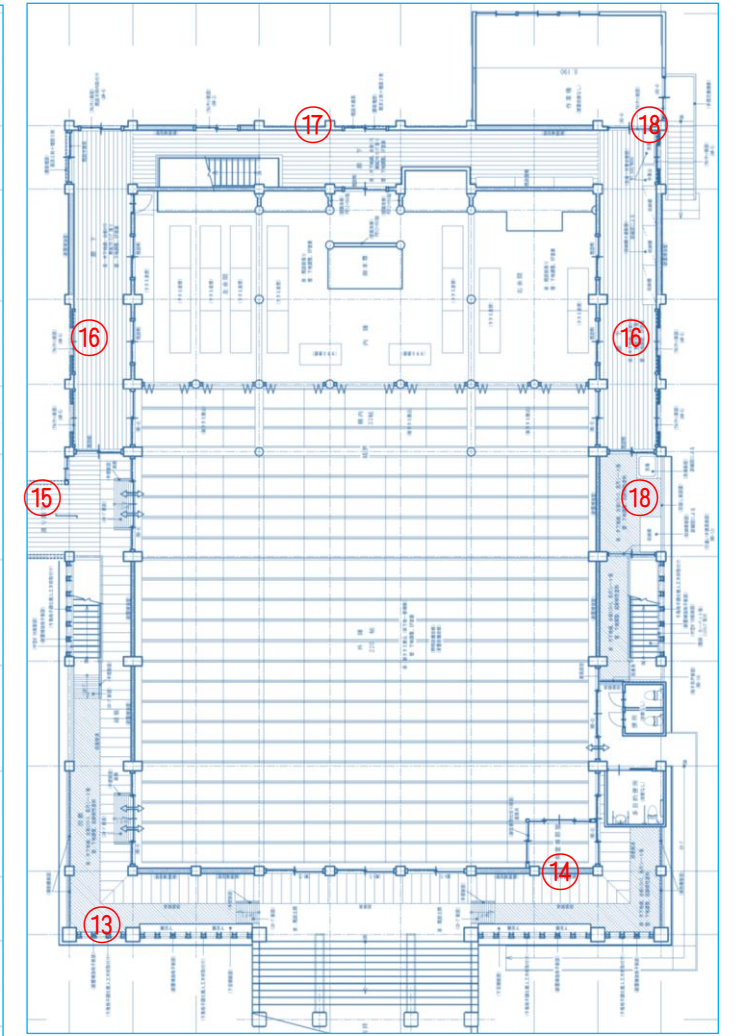
なお、H鋼耐震補強工事部分には、千鳥格子をモチーフにした化粧材を敷設することとし、耐震精度を鉄骨ブレイス案レベルに保つため（阪神淡路大震災レベルの揺れでも倒壊の可能性が少ない《IS値を0.6以上》）、正面の補強力所を4カ所から8カ所に増やすこととなりました。

#### ＜付帯工事（本堂諸設備整備工事）＞

付帯工事については、基本計画で示された工事内容について、実際に運用していくことを観点から詳細確認を行い、調整を行うとともに、例えば照明工事について2階本堂のみではなく本堂建物全体をLED化するなど、将来を見据え可能な限り整備の幅を広げるなどの再検討を加え、工事内容の確定に至りました。



付帯工事（本堂1階）



付帯工事（本堂2階）

#### ＜付帯工事の主な内容＞

- ①御坊会館玄関タイル張り
- ②パブリックスペース（地域の方や観光客などの休憩スペース）
- ③水場
- ④御坊会館玄関の床板及び天井板敷設
- ⑤倉庫新設（椅子机等収納）
- ⑥バスドライバー休憩所内装工事
- ⑦トイレ工事（男女別で新設、多目的・オストメイト）
- ⑧現行の板の間を畳敷きに変更
- ⑨フローリング全面張替（耐震壁工事による必要工事）
- ⑩倉庫（椅子机等収納）としてフローリング化
- ⑪講師室のエアコン新設や襖修復
- ⑫講師用トイレ新設
- ⑬段差解消・下足箱、各所スロープ設置
- ⑭御堂番部屋移動
- ⑮渡り廊下改修（外部塗装・サッシ交換・内装改修・玄関改修）
- ⑯フローリング張替
- ⑰窓サッシ工事
- ⑱階段、水屋、サッシ、収納棚改修工事

#### 【本堂荘厳御修復工事】

本堂荘厳御修復工事については、中尊前須弥壇宮殿をはじめ、主要な仏具及び内装の改修を行うことで計画されました。今後、耐震及び付帯工事とは別に、入札による業者選定の手続きを進めてまいります。

#### ＜修復内容＞

- 掛け軸修復・中尊前（宮殿・須弥壇・上卓・前卓・瓔珞・金灯籠）  
祖師前（宗祖厨子・須弥壇・前卓・瓔珞・金灯籠）  
御代前/右余間仏具（前卓） 法要仏具（御讚卓）  
框金具腰板修復・襖修復・折障子修復・金紙張替え・漆塗り部分修復



## 宗祖御遠忌法要教化事業

### 法要讃仰行事—法要までのお待ち受け期間、法要の前後の「讃仰期間」に開催

御遠忌法要を前後して、讃仰行事の実施が検討されてまいりましたが、現時点での讃仰行事が決定確認され、今後、それぞれの実行委員により準備が進められてまいります。

- **御遠忌ブックフェア** 概要：飛騨地域一般書店（指定の店舗）で御遠忌関連書籍販売企画を実施。  
期日：御遠忌法要までの期間随時。
- **莊川桜の本山境内地（御遠忌記念移植）** 概要：莊川桜の苗木を本山境内地に移植し、植樹式を行う。  
期日：2017年12月11日（本山）
- **家族 de ご遠忌（子ども御遠忌）** 概要：子どもだけでなく家族で参加いただき、お念仏の伝統が引き継がれていく場として開催。  
期日：2019年4月28日
- **親鸞と被差別民衆（パネル展）** 概要：「親鸞は誰と出遇ったのか、私たちは誰と出遇うのか」。本山所蔵のパネル『親鸞聖人と被差別民衆』を展示。  
期日：2019年4～5月
- **各組の取り組み** 概要：各組でのお待ち受け行事として開催いただく。  
期日：御遠忌法要までの期間随時。
- **宝物展示** 概要：別院所蔵及び寺院所蔵の宝物を展示。

### 真宗教学大会「高山大会」記録誌『報恩講—伝承から新たな伝統へ』の発行について

今年5月、「真宗教学学会高山大会」が真宗教学学会と高山教区の共催で、「報恩講—伝承から新たな伝統へ」をテーマに開催されました。

このテーマについては、2019年厳修の教区別院御遠忌法要教化の取り組みとして「報恩講」が取り上げられていることに着目し決定された。今後の別院を中心とした飛騨真宗の「報恩講—伝承から新たな伝統へ」を展開する一助となる取り組みであり、学会の記録内容とすることをベースに、今後、報恩講を考えていくうえでの基礎資料として活用していくことを目指し、「真宗教学学会高山大会」の記録誌を御遠忌法要教化の取り組みとして発行いたします。

### 御遠忌記念出版『正信偈同朋唱和集—現代語訳付』発行

去る6月末、この度の御遠忌記念出版として位置づけられていた『正信偈同朋唱和集—現代語訳付』（以下、同朋唱和集）並製版が発行され、7月の下旬より御遠忌懇志金記念品として配布が始まりました。

この『同朋唱和集』については、『大谷派勤行集（赤本）』をベースに、正信偈や和讃などの現代語訳が付されたもの。巻末には、報恩講のおつとめを頁の移動が1回で済むよう、報恩講和讃と念仏が増補されています。この度の御遠忌を機縁として、各家庭で報恩講が勤まり報恩講文化が回復していくことを願いに発行されました。

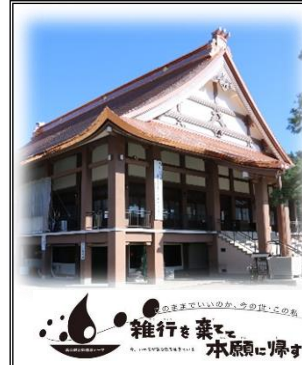
なお、記念品としては、懇志金4万円につき2冊をお渡しし、新たに10万円の懇志金に対しては『同朋唱和集』の和綴本をお渡しすることが決定されました。（和綴本の発行については明年を予定）

### 御遠忌・御修復懇志金御進納状況のお知らせと御礼

御遠忌御修復懇志金の6月30日現在における収納状況について、次のとおり御進納いただいておりますことを報告いたします。尊い御懇念をお寄せいただきましたこと厚く御礼を申し上げますとともに、今後ともご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

収納総額 **303,871,287円**（御進納率67.1%）

【内訳】	金額	（ ）	予算額
御遠忌御修復懇志金	268,775,100円	（4億円）	
住職・寺族懇志金	18,060,000円	（1,580万円）	
特別懇志金	16,570,000円	（500万円）	
一般懇志金	466,187円	（200万円）	



# 高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人御遠忌通信

第6号 2017年7月27日 <発行> 高山教区・高山別院 宗祖御遠忌推進委員会

御遠忌記念事業 第二期工事 耐震補強工事・付帯工事・内陣御修復工事2・3面

## 宗祖御遠忌に向けて、記念事業・記念行事

### —内陣御修復工事・耐震補強工事・本堂諸設備整備工事—

宗祖御遠忌法要まで2年を切り、御遠忌推進委員会を中心に、記念事業をはじめ様々な準備が進められております。去る7月10日、御遠忌委員会総会を開催し総計画変更案が承認（7月20日教区門徒会承認、21日教区会承認）され、今年度及び来年度の取り組み、特に記念事業第二期工事そして御法要について、今後より具体化していくこととなります。

今年度も、御遠忌法要をお迎えするということの意義を教区全体で確かめつつ、飛騨御坊を中心道場とした飛騨真宗の土壌の再生の道を、皆様とともに歩んでまいりたく、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

#### <記念事業について—第二期工事の推進を>（2・3面参照）

いよいよ今年度、第二期工事にとりかかっています。その実施設計内容が確定したことから、現在、業者発注の行程に入ってきております。第二期工事については、周知のとおり耐震補強工事及び付帯工事、そして内陣修復工事で、昨年の別院屋根葺き替え工事を含め、現在の本堂の竣工以来、最大の整備事業となります。

基本計画にある、真宗門徒はもとより、市民及び観光客により開かれた今後の別院としていくための事業として、来年の別院報恩講を目途に進めてまいります。

#### <法要教化について—讃仰行事の確定を>（4面参照）

御遠忌法要までのお待ち受けの行事として、また、御遠忌法要の前後に行われる讃仰行事について検討が進められており、現時点で〇件の事業が実施決定となっております。

特に、すでに基本計画の中で掲げられていた莊川桜の本山境内への移植については、期日を本年12月11日と決定し、移植記念式典への団体参加を実施いたします。

なお、今年度は御遠忌法要の執行の詳細及び体制を明確にし、それぞれがそれぞれの事業に邁進していけるよう、様々な調整を進めてまいります。

#### <募財奨励について>（4面参照）

昨年末において67.1%の収納をいただき、31カ寺にご完納をいただきました。募財期間は2023年6月末ではありますが、別院本堂御修復をはじめ御遠忌法要の厳修を遂行してまいること鑑み、大変勝手なお願いではありますが、極力の早期納入にご理解を賜りたくお願い申し上げます。

飛騨御坊御遠忌七五〇

2019（平成31）年5月10日（金）～12日（日）厳修

